

## 生涯学習応援講座シリーズ「喋りあかし。なう」第1回目「企業と社会貢献活動」 —あなたは何をしたい・何ができる— が終了しました。

今日的な課題をテーマに、応援団ちばの理事で千葉大学教育学部教授である明石要一氏の基調講演（問題提起）と多彩なゲストや参加者による討論・意見交換等を通じて、今後に向けた取組み方策などをともに考え、提案するとともに、新たな人の繋がりを目指して、平成23年度からスタートした「喋りあかし。なう」の第1回目の講座「企業と社会貢献活動」は、平成23年6月26日（日）、千葉みなと駅前のホテルポートプラザちばで開催され、40名を超す方々のご参加を頂き、無事終了いたしました。

プログラム第1部の基調報告「企業の社会貢献活動の現状について」では千葉大学教育学部教授明石要一氏から、阪神淡路大震災以降、ボランティア活動が市民権を得たこと、この3月11日の東日本大震災を受け、それをどの様に受け止めるかにより、ボランティアや社会貢献がまた大きく変わるであろうということ、企業の社会貢献には「ヒト」、「モノ」、「カネ」が大切であること、また、以前実施した調査結果から、企業の従業員が現職中にボランティア活動に参加している場合は、定年退職後の目標についても明確になっている方が多い、などの興味深い報告がありました。



続いて第2部の「企業の社会貢献活動を語る」では石川清氏（千葉県経営者協会社会貢献部会長）、秋田敏彰氏（株式会社総合ビジョン顧問）、小川澄子氏（千葉県子ども会育成連合会事務局長）、篠原和行氏（千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室長）をゲストにお迎えし、それぞれのお立場から、企業と社会貢献活動に関して熱心にご討議を頂きました。この主なご意見などについては、改めてツイッターなどを通して順次ご報告をいたします。（ツイッターに掲載したご意見等は、応援団ちばのホームページでも見ることができます。）

